

第二回 日本華人教授会公開講座 終了のご報告

日本華人教授会公開講座委員会

2019年5月20日

日本華人教授会では、会員同士の知的交流、日本人の皆さま、日本に在住しているその他の国の方々との交流を通じて、相互理解、知的形成を促進するため、社会貢献活動として、4月から公開講座を企画、実施しております。

第二回目は、金曜日の夕刻快哉されました。時間的に社会人の参加が難しい面もありましたが、人工知能という旬の話題ということもあり20数名の参加者が集まり、活発な質疑応答が行われ、成功裏に終わりました。

講師は、大手IT企業でシニアIT Architect、魏向紅女士をお迎えして、人工知能（AI）の歴史、現状及び未来について、具体的な事例を挙げながら、人工知能がこれからの経済社会に与えるインパクトなどをわかりやすく解説していただきました。続いて、会津大学名誉教授、東京電機大学客員教授であり、IT関連特許を多数お持ちで、ベンチャー起業の経験もお持ちの魏大名先生がコメンテーターとして意見を述べられました。



魏 向紅 IT Architect



魏 大名 客員教授

講師の講義やコメンテーターのお話を踏まえて、会場から活発なコメントや質問が出され、講師、コメンテーターとの間で双方向の交流が濃厚に行われて、次世代人工知能とこれまで数十年にわたって開発が行われた人工知能技術との相違、人工知能の経済社会へのインパクト、人工知能の倫理・技術開発のルール、そしてグローバル・ガバナンスにもたらす影響などについて活発に議論が行われました。



当会は、これまでの経験を踏まえてより魅力のある公開講座を社会に提供し、活発な知的貢献を続けていく所存であります。